

泉の歴史よもやま話

高田明神と白山神社

講師 郷土史同好会 田中鈴夫 先生

期日 平成十三年八月二日
会場 白山神社

(泉の歴史シリーズ 四七)

「白山神社は、その昔高田明神といわれ、約四百年前武田の家臣に焼かれた」について、当時は通路のなかった白山神社の地に、どうして武田軍が入り焼いたのか、そして主税町の土岐川に近いところに「白山神社の土地」がどうしてあるのだろうかといったことについて疑問をもっていたが、これを解明してみたい。

平安の頃から旧土岐郡一帯を高田郷と称していた。後に、高田郷の内 泉町を中心とした農地は皇室直轄の農地になり、「高田勅旨田^{てしでん}」と名付けられ、皇室に収穫米を献納していた。高田勅旨田は大富・定林寺・河合・久尻・山之内あたりまであった。そして、延長五年（九二七年）に作成された美濃^{みの}国神名帳に「従五位下高田明神」の名称が記載されているが、これまで、この高田明神が現在の白山神社の位置にあったと推測されていた。

明治一三年（一八八一）頃、大富村の庄屋であった今井柳右衛門の作成による「大富略記」によれば、明治六年迄使用されて

いた二百数十の旧小字名の中に「明神前」の地名が記されており、その北側に隣接して「日神子神社」の地名があった。又、旧「明神前」の東の地域に約千八百坪の白山神社領が現在もあり、この地付近を脇街道が通っておったので、この地に高田明神があったと想像される。

又、当時の大富村地区全体の位置関係から小字「伍所」(旧名御所)に建っていた土岐氏の居城大富館の鬼門(うしとら)の方角に瑞雲山定林寺が創建されており病門(ひつじさる)の方角に高田明神が祀られていたとも考えられる。

永禄の終わりから天正の初めの頃、東濃一帯は甲斐の武田軍と尾張の織田軍との争いの接点となり、東濃地方の神社仏閣の三十数か所が両軍により放火焼失してしまった。大富の高田明神も定林寺と共に武田軍の武将秋山信友(岩村城主―女城主の夫で有名)の命により家来の仁木藤十郎により放火され、炎上してしまつた。

その時大富の村人は火災の中から身を挺して半焼しかけていた十一面観音を持ち出して祀りおき、約百二十年後の貞享三年(一六八六)に白山神社が現在地に建立されるに当たり合祀したと考えられる。その後十一面観音は二回にわたり脚座、向背が修理されている。明治初年の神仏分離令の時にも神殿奥深く秘祀されて今日に至っている。

かくの如く歴史をたどってみる時、疑問が解かれ、益々白山神社の淵源の深さと崇高さをしみじみと感じさせられる。

從五位下男屋明神

從五位下秦氏明神

從五位下小山縣明神

可兒郡座四社

正二位大縣明神

從五位上伊夜明神

正六位上高山明神

正六位上澤雁明神

土岐郡座七社

正一位酒波大神

從五位下推野明神

從五位下尋河明神

從五位下黑味明神

從五位下高田明神

從五位下大縣明神

從五位下神野明神

惠奈郡座七社

從四位上河龜明神

從五位上中津河明神

從五位上清坂明神

從五位上長窪明神

一 從五位上長窪明神

河波はハ
スツツク
リ
一 御不明
一 御不明
「神野」
「阿氣」
「阿木」

「異味」又「異味」
「イミ」

意之地所賣買スルニ庄屋役場ノ名

奇帳ヲ以テ賣買致候而已上ノ擇口

不及候際至明治六年地券被仰付

候ニ付地券帳並地圖等制上納イ多候可リ

始テ地券證御下渡ニ相成候也

第二十 字名語之事

一 御改正ノ字限切繪圖制ノ方左ノ

通相改候

一字大橋是ニ元来ノ依据置

二十二号

一字清水是“右身”

二十三号

一字北原是“野相系相也”

二十四号

一字野相是“野畔系原也”

二十五号

一字原相是“野相系原也”

二十六号

一字佐契是“系原系田也”

二十七号

一字美ノ柵是“野畔系原也”

二十八号

一字木林口是“野相野畔系相也”

二十九号

一字野畔是“野相野畔系相也”

三十号

一字外相是“寺相外相野畔系相也”

三十一号

一字東洞是“寺相系相也”

三十二号

一字下ノ相是“野相下相也”

三十三号

一字山ノ由是“仲溪山ノ由堤内久ノ下也”

三十四号

一字仲森林是“元来ノ修也”

三十五号

一字西ノ洞是“九畝西ノ洞也”

三十六号

一字藪ノ下是“系原下ノ向ノ數也”

三十七号

一字系原内是“西ノ洞系原内也”

三十八号

一字久保美是“元来ノ修也”

三十九号

一字梅ノ木是“元田梅ノ木也”

四十号

一字鳩ノ田是“修田鳩ノ田也”

四十一号

一字仲田是“水南ノ南田也”

水南ノ南田也 修田鳩ノ田也 仲田下ノ相也

岐阜県土岐市泉町大富地区 金幣社 白山神社
平成13年6月に作成されたものを平成23年11月に転載

≪ 田中鈴夫先生 略歴 ≫

大正 4 年 11 月誕生

昭和 9 年(18)岐阜県立恵那郡中学校 卒業

昭和 11 年(20)岐阜県師範学校 卒業

昭和 11 年(20)土岐郡駄知尋常小学校 訓導

昭和 17 年(26)土岐郡土岐津国民学校 訓導

昭和 19 年(28)満蒙開拓青少年義勇軍第7次岐阜県送出郷土中隊長（田中隊）

昭和 21 年(30)土岐郡泉国民学校 訓導

昭和 22 年(31)土岐郡泉中学校 訓導

昭和 29 年(38)瑞浪市立瑞浪小学校 教頭

昭和 31 年(40)瑞浪市立瑞浪小学校 校長（代理 半年間）

昭和 36 年(45)岐阜県教育委員会土岐地方事務局教育主事兼社会教育主事

昭和 39 年(48)土岐市立肥田小学校 校長

昭和 46 年(55)土岐市立泉中学校 校長

昭和 51 年(60)依願退職

昭和 53 年～56 年 土岐市農業委員

昭和 56 年～59 年 土岐市農業委員会 会長

昭和 56 年～62 年 土岐市家庭相談員

（東濃地区協議会長3年、岐阜県協議会長1年）

昭和 62 年 以降不明

平成 24 年 3 月没（96 歳）

土岐郡大富村全地圖

